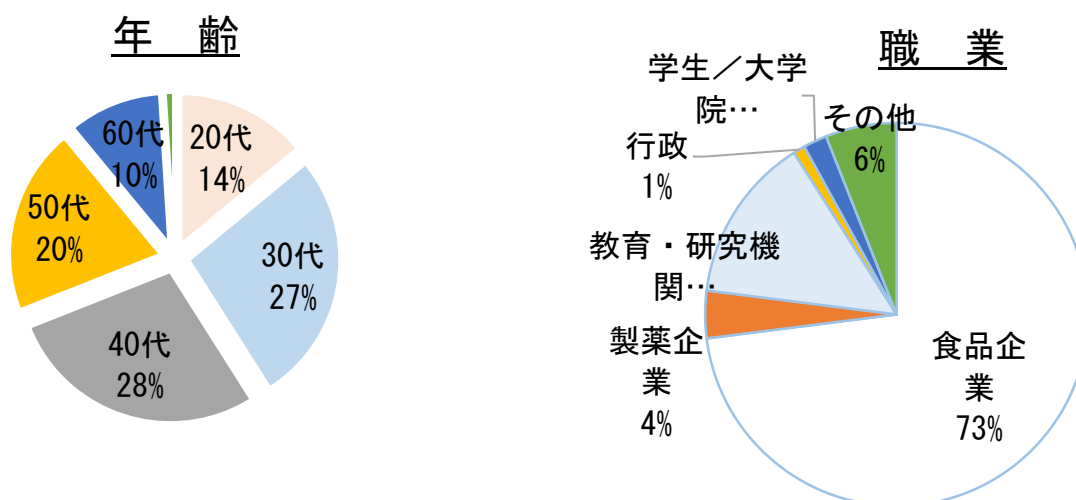


アンケート結果から（回収率 36% ; 109 名）



□とても興味深かった ■興味深かった ■興味はなかった ▨難しくよくわからなかった

氏名	とても興味深かった	興味深かった	興味はなかった	難しくよくわからなかった
秋山弘子先生	46	51	30	0
正林督章先生	36	52	12	0
辻一郎先生	52	44	40	0
DR. RICHARD HEAD	21	61	2	16
佐々木敏先生	36	60	6	0
坂田隆先生	30	63	7	0
桑田有先生	24	60	14	2
阿部啓子先生	61	34	2	3
宮地元彦先生	56	40	3	1
宮田裕章先生	80	19	0	0
井元清哉先生	56	40	3	1
DR. JOSE M ORDOVAS	47	42	4	7
DR. DORIS VANDEPUTTE	49	47	1	3
DR. NIV ZMORA	70	28	1	1
木村毅先生	32	57	3	8
鎌田真光先生	54	38	8	0
山仲勇二郎先生	68	27	1	4

■長寿社会の課題と可能性（秋山弘子先生）

- ・ 50代男性、食品企業「高齢者の働くことの意味、高齢者コミュニケーションの topic が大変興味深く拝聴した」
- ・ 40代女性、食品企業「健康寿命を伸ばすのは身体的なもののみならず、社会的なもの、国などがハード・ソフト面で環境を整えることが重要なことが良く分かってよかった」
- ・ 30代男性、食品企業「多くの高齢者が持つ「働きたい」という希望を活かせる社会作りが今後の日本に求められることであると感じました」
- ・ 20代女性、食品企業「健康の傾向が3つ程度のパターンに分かれることや、仕事と医療費の県ごとの相関など、初めて見るデータが多く大変興味深かったです」
- ・ 40代男性、その他「長寿社会の課題の一つに社会的孤立が挙げられており、この問題の

新たな一面を知ることが出来た（社会的な変化の重要性も含め）」

・ 50 代女性、食品企業「I felt that the kind of experimental living societies are helpful to improve the QOL of older adults. It makes aging more hopeful.」

■日本の栄養政策の歴史（正林督章先生）

・ 40 代男性、食品企業「国策や政策が栄養問題と直結していることを知る機会になった」

・ 70 代男性、その他（事業者団体）「戦後から今日の保健・医療政策の充実・長寿社会は軍事費の解放の為と理解できた。戦中の軍事費は国家予算の 7～8 割もあったのだから」

・ 40 代女性、食品企業「特に、第二次世界大戦が終わってからしばらくの間の「栄養政策」の整備について良く分かって良かった」

・ 30 代男性、食品企業「日本の劇的な長寿化が経済成長に先んじて成しえていたという事実が非常に面白く、行政の重要性を強く感じました」

・ 20 代女性、食品企業「法整備について非常に貴重なお話で勉強になりました。今後の日本の健康における法整備の重要性を始めて認識できました」

・ 50 代女性、食品企業「It was a good review of the historical evaluation and changes of Japanese health, nutrition, and diets around the world.」

■健康日本 21（第 2 次）の現状と課題（辻一郎先生）

・ 50 代男性、食品企業「健康日本 21 の各ステージでの目標達成度と達成に向けた課題をよく理解した」

・ 40 代男性、食品企業「平均寿命と健康寿命が縮小、地域格差も縮まっていることは興味深いと思いました」

・ 30 代男性、食品企業「健康日本 21 の中間評価で、日本人の意識が高まった点、低いままの点が明らかに分かり、非常に面白かった」

・ 30 代男性、食品企業「足立区の例が非常に興味深かったです」

・ 50 代女性、食品企業「I liked his point of having to prioritized health issues and not only based on numbers but qualitative target.」

■International Research Developments Focus on Human Variation in Response to Food and Nutrients (Dr. Richard Head)

・ 30 代男性、食品企業「栄養素/欠乏/現象→1：1 の関係でなく、複数要素で見る必要性、視点を感じました」

・ 40 代男性、食品企業「栄養素の多面的作用を理解することは難しく、適切な必要量をどう評価していくかが課題と感じた」

・ 30 代男性、食品企業「栄養が健康に及ぼす影響について、様々な因子を切り口とした研究が紹介され興味深かったです」

- ・ 40代男性、その他「栄養と長寿の関係が興味深かった」
- ・ 50代女性、食品企業「I was particularly interested on his discussion on how disease evolve and depending of stage particular interventions may not work.」

■Session 1 総合討論

- ・ 30代男性、食品企業「歩数事例の環境・インフラの変化は意識せずに変わるきっかけだ」
- ・ 30代女性、その他(委託給食)「葉酸のゲノムレベルで分かっている事が聞けて良かった」
- ・ 70代男性、教育・研究機関「日本食パターンの重要性、うつ病には日周リズムと葉酸」
- ・ 40代女性、食品企業「健康寿命を伸ばすには、働き方改革、独居を楽しく過ごせることだ」という結論は意外だったが、腑に落ちた」
- ・ 30代男性、食品企業「将来の深刻な社会課題として、栄養や認知症などよりも「孤独」が挙げられた点が鮮烈に印象に残った」

■健康な食事研究会 WG1 (佐々木敏先生)

- ・ 40代男性、食品企業「日本食を定義し、エビデンスを構築していく必要があると感じた」
- ・ 30代男性、食品企業「健康食として地中海食が一般的であること、一方で和食、日本食は定義付けが確立中であること」
- ・ 30代男性、食品企業「日本食の定義があいまいな中であらゆる食が変化している。因果関係を明確化する難しさを感じた」
- ・ 70代男性、教育・研究機関「日本食の定義の難しさと研究の重要性が分かった」
- ・ 50代女性、その他「「日本食」の科学的な定義について科学的な手法で系統的に整理を試みた報告と考察は納得のいくものでした」

■健康な食事研究会 WG2 (坂田隆先生)

- ・ 50代女性、その他「現場にある事実を丁寧に把握し、整理・検討された結果は示唆に富んでいた。中食利用の生活者がみえる内容で、科学と社会実装の実効性を考えさせられた」
- ・ 40代男性、食品企業「企業の取組み実態(成功・失敗)が示されており参考例となった」
- ・ 40代女性、食品企業「中食は「おいしさ」と「コストパフォーマンス」だろう!と思っていたが、意外に食材数とか野菜とかにも気を使っているのだなと思った」
- ・ 60代男性、食品企業「中食における食事選択を考慮した訴求の方法に興味を持った」
- ・ 30代男性、食品企業「減塩=おいしくなさそう→食べられない。せっかく良いことを企業がしても受け入れられないのはもったいない」
- ・ 30代男性、食品企業「減塩しているが、訴求はしていないというのはおもしろいと感じた(残念ですが・・・)」

■健康な食事研究会 WG3 (桑田有先生)

- ・ 30代女性、その他（委託給食）「PDCA サイクルとして、あまり頑張らないでも効果のある仕組み作りは大切だと感じた。指導が終わっても1人でもできる仕組み作りが必要」
- ・ 70代男性、教育・研究機関「行動科学の関与が重要」
- ・ 40代男性、食品企業「気付かないうちに健康な食事を実践している'Nudge'をいかに実装していくかが難しい問題と感じた」
- ・ 30代男性、食品企業「機能性が重要と思われる健康食品であっても、まずは「おいしさ」が最重要視されることが面白いと感じた」
- ・ 30代男性、食品企業「食品企業にいる人間として健康意識に関心のない層の存在は盲点でした（どうしても軽視しがちになっていました）」
- ・ 50代女性、食品企業「Inclusion of all consumers - Health conscious and not health conscious in the promotion of health diet」

■東京大学 機能性食品ゲノミクスー寄付講座成果の総括（阿部啓子先生）

- ・ 30代男性、食品企業「栄養→食事として考える。メタボロミクス、ゲノミクス、単体の栄養素としてだけでない視点が重要と学びました」
- ・ 30代女性、その他（委託給食）「ILSI には、たくさんの企業が関わっている事は知らなかった。連携する事が大切であると感じた」
- ・ 70代男性、教育・研究機関「広範な健康食品、有効成分の開発が分かった。生理活性物質の効果はCYP等の個人差が大きい点問題」
- ・ 60代男性、食品企業「時代の流れ、企業の要求を踏まえて15年間の継続した寄付講座について勉強した」
- ・ 30代男性、食品企業「分かりにくい食の効果をどのようなプラットフォームとアプローチで見ていくのかの1つの道筋が理解できた」
- ・ 50代女性、食品企業「It is very impressive the volume of work and the involvement of this project. I do hope results can also be applied to every day Nutrition and not only to make "functional" supplements」

■栄養科学と運動科学の融合-第9回ライフサイエンス・シンポジウム総括（宮地元彦先生）

- ・ 40代男性、食品企業「身体活動・運動の面からまとめられており理解しやすかった」
- ・ 40代男性、食品企業「有意な研究成果が世の中に浸透していく為にどのようなアプローチが（具体的に）効果的か知りたい」
- ・ 70代男性、教育・研究機関「運動の研究と栄養の研究の協力が重要」
- ・ 40代女性、食品企業「「栄養科学と運動科学の融合」の具体例について良く分かった」
- ・ 50代女性、その他「「中堅でPIをやったことがある研究者を」という人選のコンセプトには賛同です」

■Session 2 総合討論

- ・ 30 代男性、食品企業「健康リテラシーの低い人が気づかないうちに行動を変える行動変容について学びたい」
- ・ 30 代男性、食品企業「運動と栄養を結び付けるデータはまだまだ積み重ねられなければならないと感じた」
- ・ 30 代男性、食品企業「英国の健康訴求の取組み、企業、第三者機関で健康の取組みを視える化して、社会に広げる活動は日本でもできればと感じた」
- ・ 50 代女性、その他「科学に対する深さや広さの違いが見える discussion で面白かった」

■基調講演: Society 5.0 時代の健康と栄養 (宮田裕章先生)

- ・ 50 代男性、食品企業「新しい発想を聴けて大いに刺激を受けた。常識が変わる驚き」
- ・ 60 代男性、食品企業「今、AI と食・医学で起きている事が良く分かった」
- ・ 30 代女性、食品企業「'病気にならない'ではなく'魅力的な生活が健康'という捉え方、'日々の生きる、食べる、をどうデザインするか'という点が印象的だった」
- ・ 40 代女性、その他（委託給食「大変おもしろかったです。集団給食もこれから AI の力を使い個別対応できる時代が来るかもしれないと思いました。一番興味がありました」
- ・ 40 代男性、食品企業「Interesting talk but need more examples re understand innovative concept」
- ・ 40 代女性、食品企業「広大な可能性を感じたが、莫大すぎてどうすれば良いのか直ぐに思いつかない。思いついた人が大成功を収めるのかなと思った」
- ・ 40 代女性、食品企業「研究者、行政、企業の連携で社会を変えられる可能性を感じました。このようなスマートな方々に日本を引っ張っていただきたいと思いました」
- ・ 40 代男性、食品企業「健康食品は食べたときの健康価値だけでなく、ターゲットとなる人ごとの求めるおいしさや価値を考慮する必要があると感じた」
- ・ 20 代女性、食品企業「世界全体での取り組みが必要だからこそ時間はかかるのか知れませんが、「個々人」に対する医療が実現可能であるというのはワクワクしました」
- ・ 30 代男性、食品企業「Society5.0 の大きなビジョンが見えた一方で栄養の難しさ（入力）をどのように乗り越えていくべきか考えさせられた」
- ・ 50 代女性、その他「データを軸にした社会変革の流れや背景・内容について表面的ではないお話が聞けた。価値をとらえてデザインするかの創造力が試されると感じた」

■先端データサイエンス (AI と個別化医療) (井元清哉先生)

- ・ 30 代女性、その他（委託給食）「井元先生のお話しは分かりやすかった。健康リスクの計算式は面白く日本の統一予測になれば良いと思いました」
- ・ 40 代女性、食品企業「今の健診結果からこの生活習慣を続けると健診結果がどう悪くなるのか、悪くしないにはどう生活習慣を変えれば良いかが示されると生活習慣を良くしよ

うとするモチベーションが上がりそうと思った」

・ 30 代男性、食品企業「データが権利や財として捉えられる社会になっていくであろうという予測から、企業としてデータとの付き合い方を見直す必要があると感じた」

・ 30 代男性、食品企業「個別化医療を促進するためには多くの国民が自分の DNA を開示する必要があると感じた。マイナンバー、国民皆保険に続いて DNA 開示の義務化の世の中になるのでは？」

・ 40 代男性、食品企業「慣れないデータサイエンスのテーマを理解しやすく説明いただいた。SNP の影響は今後の取組みに大きく影響すると感じる」

■ Personalizing Nutrition for Healthy Aging (Dr. Jose M Ordovas)

・ 30 代男性、食品企業「遺伝子変異と栄養、時間の影響は興味深かったが、難しかった

・ 30 代女性、その他 (委託給食)「井元先生のお話と類似していたが、世界でも個人ゲノムの利用が今後されるのかなと思った」

・ 40 代女性、食品企業「アメリカは日本よりも肥満率が高いので、肥満にフォーカスした「高齢者の生活」の研究について分かって良かった」

・ 40 代男性、食品企業「最新の知見から個別栄養の重要性を改めて感じました」

・ 30 代男性、食品企業「遺伝子多型の違いが臨床検査値にしっかりと影響を与える実例が取れていると分かり、非常に興味深かった」

・ 30 代男性、食品企業「日本人の長寿の理由を日本食とする話が多かった中で糖尿病のリスク遺伝子を持つ人が少ないと言う仮説はとても興味深かった」

・ 40 代男性、教育・研究機関「SNP の影響含め米国の取組みに触れることができ良かった」

・ 50 代女性、食品企業「Very interesting for me personally to know that not every one responds the same to a particular "Healthy diet" → what effect on policy making ?」

・ 20 代、食品企業「ゲノムのトランスクリプトームからの話しが良かった」

■ Gut Microbiome and Nutrition (Dr. Doris Vandeputte)

・ 30 代男性、食品企業「占有率と cell count の違いが興味深かった」 ・ 40 代男性、食品企業「エンテロタイプを取り上げて説明していただき、反応性の違いが分かりました。Healthy Gut の解明が期待されます」

・ 60 代男性、食品企業「肥満と腸内細菌叢との関係のアップデート情報がわかった」

・ 30 代男性、食品企業「家族がクローン病の為この研究が社会に役立つことを期待します」

・ 50 代女性、食品企業「Great review of current knowledge on microbiome, diet, and health」

■ Harnessing the Gut Microbiome to Promote Metabolic Health (Dr. Niv Zmora)

・ 30 代女性、食品企業「実験結果が多く興味深かった。人工甘味料の影響の受けやすさの原因がここにあるとは意外でした」

- ・30代男性、食品企業「個人差が microbiota から見る視点が興味深い。甘味料の影響だけでなく、様々なものの反応がみたい」
- ・30代女性、食品企業「個人によって同じものを食べた時の血糖値推移が大きく異なっていて驚いた。初めて見るデータが多く、もっと詳しくは話しを聞いてみたくなった」
- ・40代女性、食品企業「腸内細菌叢はヒトによって異なるが、「体に良い／悪い食品」についてもヒトによって異なることが面白かった」
- ・30代男性、食品委員会「食品企業として人口甘味料の影響に非常に関心が高く、腸内細菌叢の変化を通じて肥満、糖尿病を悪化させることに衝撃を受けた」
- ・20代女性、食品企業「GI値と個体差など、非常にわかりやすい差の出たデータが多く大変興味深かったです。個人差の取扱いの重要性がわかりました」
- ・30代男性、食品企業「食品添加物の安全性について腸内環境への影響も調べる必要を感じた。特に保存料が気になりました」
- ・50代女性、食品企業「amazing volume of Data and again understanding that dietary response is individual specific」
- ・30代男性、食品企業「他の多くの講演、食品企業の視点が「食」から入っていて「良い食」の判別などに向かう中でヒューマンセントリックに考えると「万人に良い食はない」という結果は衝撃的」

■アミノ酸バイオマーカー（木村毅先生）

- ・60代男性、食品企業「マーカーとしてのアミノ酸の有効性が分かった」
- ・40代女性、食品企業「もうすぐ発症するだろう疾患を血中アミノ酸濃度で予測できる。簡単に分かるのが良いと思った」
- ・30代男性、食品企業「病気が進行する前からアミノ酸プロファイルが同じになるということが興味深かった」
- ・20代女性、食品企業「食が病気を予防するという目標に最も近い研究なのではと感じた」
- ・50代女性、その他「Biomarker の解析系の開発とコホートのコラボによる研究成果という点が特に興味深かったです」
- ・40代男性、食品企業「AA のモニタリングから多くの体調推定が出来ており多くの情報が無くても実施できる取組みの良い例と感じた」

■運動・身体活動と普及科学（鎌田真光先生）

- ・30代女性、その他（委託給食）「個人的に大変興味があり面白かったです。これから AI との共有の中でエンターテイメントが重要になって来ると思うので個々に合う行動変容の仕方があるのだと感じた（ゲーム etc）」
- ・70代-男性、教育・研究機関「ゲーミフィケーションの大切さ」
- ・40代女性、食品企業「運動は健康のために良いのは分かっているが、なかなかできない

人へ、気付いたら運動をやっていたという仕掛けを使えることが大事だ」

- ・ 30 代男性、食品企業「パリーグウォークの取組みが面白い」
- ・ 20 代女性、食品企業「運動の理由をマズローの欲求段階に例える所など、とても納得できましたし面白かったです」
- ・ 30 代男性、食品企業「世界の変え方の具体的なアプローチは普及戦略／食品、企業を変えるためにも活用したい」
- ・ 50 代女性、その他「普及を科学としてしっかり扱うコツのようなものが見えた」

■時間生物学: 生物時計と生体リズム (山仲勇二郎先生)

- ・ 30 代女性、食品企業「運動がメラトニンに依存せず、睡眠時間をコントロールできるというのは初めての知見で興味深かった」
- ・ 40 代男性、食品企業「咀嚼との関係がおもしろかった」
- ・ 30 代女性、その他 (委託給食)「時間栄養学や、最近、睡眠の質とマインドフルネスについて企業向けのお話を聞いたばかりだったので勉強になった」
- ・ 40 代女性、食品企業「運動と狂った生物時計を調整する (再開に関する) こととの関係がとても興味深かった」
- ・ 40 代男性、食品企業「ヒトとマウスでは異なっている点は、これまで意識していませんでした。ストレスや糖代謝の話も面白かったです」
- ・ 30 代男性、食品企業「睡眠のリズムを司る仕組みや、明暗別の運動の効果、時間帯別の咀嚼の効果など、自分ですぐに試したくなる面白い内容でした」
- ・ 30 代男性、食品企業「海外出張が多いので自らに当てはめてみて興味深かった」
- ・ 60 代男性、食品企業「概日リズムとストレスとの関係が興味深かった」

■Session 3 総合討論

- ・ 30 代女性、その他 (委託給食)「将来の展望を聞くことができとても面白かったです」
- ・ 40 代女性、食品企業「基礎の方と応用の方と両方いたが、最新の動向をいろいろな角度で見ることができて良かったです」
- ・ 30 代男性、食品企業「他の分野と結び付ける話が多く今後の発展が期待できた」
- ・ 50 代女性、その他「講演内容のフォローとつながり、今後に向けてという進め方で session テーマが統括されており頭の整理がしやすかったです」
- ・ 50 代女性、食品企業「Nice integration of all topics.」

■栄養とエイジング国際会議全体について

- ・ 40 代女性、その他「食が簡略化されていく中で、どう選ぶかというのは難しくなっていて、選ぶための新しい知識を身につけたいと思います」
- ・ 60 代、その他「この度協賛団体として日本毒性学会へのご厚意ということで参加しまし

た。私共は平素、身体にとって有害な物が入ってきて起こる身体の変調を研究テーマとしていますが、その前のベースとしての身体の「ゆらぎ」を知る良い機会となった」

・30代女性、その他（委託給食）「始めて参加しましたが、産官学それぞれの視点でのお話を聞くことができ、大変勉強になりました。今後AIとゲノムの利用により、私自身の仕事方法も変わります。サポート方法も変わって来ると思いました。参加費は少し高いですが、その分の価値はありました。また参加したいです」

・40代男性、食品企業「次世代の栄養学の方向性を感じました。素晴らしい内容構成」

・40代女性、食品企業「パネルディスカッションが実に面白かった（結構まれな事と思います）。モデレーターの方が素晴らしかったのだと思う」

・40代男性、食品企業「討論の時間が十分確保されており、良かったと思います。過去、現在、未来に続くプログラム構成も分かり易いと感じました」

・40代男性、食品企業「栄養をより良く改善させる方法が大変先進的で素晴らしい会議」

・40代男性、食品企業「全体的に気付きや発見につながる内容で、自身の勉強になった。また、会社にとっても有益な情報が多く得ることが出来、とても有意義でした」

・30代女性、食品企業「統合的なデータ取扱いが大切であると感じた」

・50代女性、その他「これまでとこれからの両側面があり、双方の中での価値と課題も見える所があり、隣接領域でのヒントもありで興味深い構成内容だったと思います」

・50代女性、食品企業「Well balanced and combination of topics and speakers to overview in what stage in the science on healthy aging」

(ILSI Japan 山越純・横山慶子)